令和６年度　第１回千葉市稲毛区公民館運営審議会　議事要旨

１　日　時　令和６年７月８日（月）　１０時３０分から１１時４５分まで

２　場　所　小中台公民館（講堂）

３　出　席　稲毛区公民館運営審議会委員（１４名）

井上　美穂子委員長、中村　幹雄副委員長

荒川　利重委員、岡山　尚美委員、井村　　進委員、草壁　陽子委員

屋代　健治委員、中嶋　隆男委員、佐藤　典子委員、西岡　聡子委員

清水　幸子委員、堀谷　陽子委員、森元　　秧委員

（欠席）石津谷美佳委員

事務局（１７名）

生涯学習振興課　志保澤課長、山本主査、小林主任主事

公民館管理室　　髙本室長、中村室長補佐、川上主事

小中台公民館　　村上館長、谷副館長、大野主事

黒砂公民館　中島館長、　轟　公民館　秋田館長、　稲毛公民館　古川館長

千草台公民館　美濃館長、草野公民館　佐藤館長、　山王公民館　橋本館長

都賀公民館　川野館長、　緑が丘公民館　百瀬館長

（欠席）なし

傍聴人　なし

４　議　題

（１）　報告事項

ア　令和５年度千葉市稲毛区公民館利用状況について

イ　令和５年度千葉市稲毛区公民館事業報告について

（２）　協議事項

ア　令和７年度千葉市稲毛区公民館事業計画について

５　議事概要

（１）報告事項

ア　令和５年度千葉市稲毛区公民館利用状況について事務局より報告した。

イ　令和５年度千葉市稲毛区公民館事業報告について事務局より報告した。

（２）　協議事項

ア　令和７年度千葉市稲毛区公民館事業計画について委員より意見を伺った。

６　会議経過

・　開会

・　生涯学習振興課長挨拶

・　委嘱状の交付

・　委員、職員紹介

　名簿に基づき紹介をした。

・　委員長、副委員長選出

　委員長については、草壁委員より井上委員の推薦があり他の委員も賛同し、井上委員の委員長承諾を得て、選出された。

　副委員長については、井上委員より中村委員の推薦があり他の委員も賛同し、中村委員の副委員長承諾を得て、選出された。

・　議事

（１）報告事項

ア　令和５年度千葉市稲毛区公民館利用状況について

　会議資料に基づいて稲毛区全体の利用状況について説明した。また、稲毛区公民館図書室の整備状況及び貸し出し状況について説明した。

井上委員長　　ただいま小中台公民館長より、公民館利用状況について説明があった。ご質問ご意見があればお伺いしたい。

全　委　員　　特に意見なし。

イ　令和５年度事業報告について

　会議資料に基づいて稲毛区各公民館長より説明した。

井上委員長　　ただいま各館長より、事業報告について説明があった。ご質問ご意見があればお伺いしたい。

清 水 委 員　　館によって主催事業の数が異なるのはなぜか。事業数は各公民館に任せているのか。予算は一律なのか。

髙 本 室 長　　事業数は地域の実情に合わせて各公民館が決定している。

中村室長補佐　　市内公民館で１４００講座実施しており、平均すると３０講座となる。予算について公民館管理室で１館当たりの金額を決定しているが、執行は各区・各館が必要な対応を考え、バランスを調整して行っている。

森 元 委 員　　黒砂公民館の「夢の箱」とは何か。

中 島 館 長　　市営時代から代々引き継いだ事業名であるため、由来は把握していない。育成委員会の子ども会にご協力いただき継続して実施している。

森 元 委 員　　小中台公民館の新春凧揚げ大会の会場はどこか。どのようなことをするのか。

村 上 館 長　　青少年育成委員会と共催で、小中台中学校グラウンドにて開催する。凧揚げの他にも集まった方に焼き芋を配るなどしている。昨年度も３８５名の参加があり、好評であった。

（２）協議事項

ア　令和７年度公民館事業計画について

井上委員長　　次年度の事業計画について委員の皆様の地域の問題、課題を踏まえ、公民館でこんな講座を実施したらよいのではないか、また今後取り組んでほしいことなどの御意見・ご提案があればお伺いしたい。

全　委　員　　特になし。

井上委員長　　令和５年度の事業報告の感想でも構わないので、公民館に向けた忌憚のないご意見を頂きたい。

堀 谷 委 員　　各公民館の事業ひとつひとつがよく考えられたものだと感じた。稲毛公民館のガールスカウトによる講座も好評と聞いている。他の公民館でもガールスカウトが役に立てるとよいと考えている。子育て講座が増えて嬉しく思う。今後に期待している。

森 元 委 員　　赤ちゃんから高齢者教育まで開催されていて素晴らしい。災害対策としての研修や体験を増やしていけたらよい。千葉市防災普及公社の力を活用してほしい。

岡 山 委 員　　社会福祉協議会の開催する子育てサロンの参加者が減少している。毎年度初めは少ない参加人数からスタートする。今は１歳になると保育園に預けて職場復帰する家庭が多い。少ない人数でも継続して開催すると増えてくる。事業報告にて、継続することで参加者が増えた事業があった。継続して開催することが大切と考える。諦めずに挑戦してほしい。

また、公民館利用者の急病の際に、都賀公民館職員の救急対応が素晴らしく、命が救われたことに感謝している。

荒 川 委 員　　黒砂公民館「夢の箱」よいネーミングだと思う。ZOZO ツアーとは何か教えてほしい。

中 島 館 長　　ZOZO とは会社名である。地域にある ZOZO の社屋は変わった形をしており、関心が高い。建物の中がどうなっているのか見学ツアーを行った。

佐 藤 委 員　　地域の特色を活かした取り組みがよい。長期休業期間に入ると居場所がなくなる子もいるので、その期間の講座実施はありがたい。

屋 代 委 員　　公民館の事業はスクラップアンドビルドされていてよい。学校ではスクラップがなかなか難しいので参考になる。

清 水 委 員　　今回の会議にて地域を知ることができた。地域との連携が素晴らしいと思った。私も講座に参加してみたい。

子ども向けの講座はたくさんの子ども達が参加できるように講座数や定員を増やすなどの工夫があるとよい。

開催してほしい講座の希望はどこへ申し出ればよいか。どこかで回収しているのか。

村 上 館 長　主催事業は、元々はサークルの方々が活動内容を広く伝えていくのが目的であった。各公民館にて活動しているサークルを講師に迎えることが多く、地域の実情に合わせて対応しているところである。もし、サークル活動を希望する場合には、個人ではなく仲間を集めてからの相談が必要となる。

中村室長補佐　公民館に関するアンケートを年１回実施し、利用者の声を確認している。アンケートを通して事業への意見を述べることができる。現在ホームページにて１月に実施した結果を公表している。また、各公民館の主事は日頃から地域の声を聞いて公民館の運営を検討している。

谷 副 館 長　講座開催後にアンケートを実施し、次の講座の参考としている。実際、いただいたご意見を参考に開催した事例もある。

井 村 委 員　町内自治会など地域住民は公民館を地域の発信拠点として使用しており、十分に機能していると感じている。いろいろな方が利用しており、３６０日開館していることは素晴らしい。施設は主催事業も含めて目一杯活用されている様子がある。

西 岡 委 員　他館の状況を知り、新たな提案に活かしたいと思う。先の話にもあったが、轟公民館でも「轟街角シネマ」を始めた頃は参加者が少なかった。今では事業が認知され、参加者も増えている。継続することの大切さを実感している。

中 嶋 委 員　黒砂避難所運営委員会は子ども会から発展した経緯がある。黒砂地域の防災訓練は逃げるのではなく、避難所を立ち上げる訓練であり、誰でも対応できるように考えられている。また、子ども会が行っている「夢の箱」は毎年内容をブラッシュアップしている。

千葉大学生の利用者の力を取り込み、活用・協力していってほしい。

草 壁 委 員　岡山委員が前述したとおり、社会福祉協議会の子育てサロンの参加率が低い。各館の報告を受け、公民館も参加率が低い事業に対して様々な工夫をしていると知ることができた。凧揚げ大会・小学生のあいさつ標語展示会への協力に感謝している。

中村副委員長　山王公民館ではサークルの会員数が減少している。若い人にもっと参加してほしいと願っている。

井上委員長　事業は分類ごとに整理されているが、その他のように年代の枠を超えた事業が増えるともっと楽しくなりそうである。

本日の意見を参考にした今後についての検討を期待する。
他にご意見等がなければ、以上で議事は終了とする。

・　閉会